啐啄之機

＜校長室だより＞
平成２５年４月１６日
第　１　号
新庄市立泉田小学校
文責：齋藤　宏

新な気持ちで、平成２５年度スタート！

この冬も、前年以上の大雪でしたが、雪解けは、前年以上に早いようで、あれほどあったグラウンドの雪も大分融け、土が見えるところが徐々に広がってきています。来週には、グラウンドを使って、運動会の紅白の組分けを決めるための１００ｍ走ができそうです。組分けが終わると、ようやく運動会の練習がスタートできます。

今年度は、昨年度の内にお知らせしたとおり、運動会は５月２５日（土）に行う予定です。その主な理由は、「小中一貫教育」の関係で北部４校の行事の調整を図ったり、「幼保小連携スタートプログラム」で１年生の小学校への適応をスムーズにするための取り組みを開始したりしたためです。そのため、落ち着いた中で学級開きを行い、それぞれの学年としての役割を考えたり、各自の今年度の目標を立てたりと、平成２５年度をしっかりスタートすることができました。運動会に向けては、余裕を持って準備や練習に取り組むことができ、運動会のときには子どもたちのやる気満々な姿をご覧頂けることと思います。皆様には、重ねてご理解やご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、今年度は、１２名の転入職員を迎えました。そして、４月８日には、元気な２７名の１年生を迎え、入学式を無事に行い、順調に２５年度がスタートしています。

子どもたちの意欲や積極さを高め、物事に粘り強く挑戦させ、最後には、達成感と共に、子どもたちに『笑顔』が輝くようにしていきたい。そして、自分への自信を深め、自尊感情を育んでいきたいと考え、

「挑戦　そして『笑顔』輝く　泉田っ子の育成」（学校教育目標）

を継続して、今年度も学校教育目標に掲げました。

また、２３名の職員が心を一つにして、２０４名の子どもたち一人一人を大切にしながら、チームワークで指導にあたってまいります。職員合言葉は「２３人で育てる、２０４人」です。

学校経営キーワード「連携・創造・成長」

本校は、後２年で閉校になりますが、それまでの１年１年を充実した年にしていくために、そして、小中一貫教育校開校への準備を着実に進めるために、クリエイティブな発想で学校運営を進めていきたいと考え、昨年度の「挑戦」を「創造」に変えました。

＜学校教育目標の具現化のための１０の方針＞

１　全職員で、児童一人一人へのきめ細やかな指導
２　小中一貫教育校の開校に向けた取り組みと本校の閉校に向けた取り組み
３　教科担任制の推進とＴＴ指導の充実
４　幼保小連携スタートプログラムの実施
５　自己有用感・自尊感情の高い子どもの育成
６　ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する子どもの育成
７　情報の適切な発信に努める
８　読書指導の充実を図る
９　教員の子どもと向き合う時間の確保
10　子どもと共に成長する教員集団

＜主な各種相談・問い合わせ窓口＞

教頭…施設設備の管理・体育館等施設使用・ＰＴＡ活動全般　その他　何でもどうぞ！
教務…行事予定・月週予定・登下校時刻等　教育活動全般
副教務…情報教育・特別支援教育・外国語活動等　教育活動全般
主査…集金関係・就学援助・施設設備　等
養護教諭…検診・治療勧告・心身の健康・PTA 安全互助会　等
各学級担任…学年行事・学級に関すること・児童に関すること　等
校長にも、教頭と同様に、何でもご相談ください。

「教育相談」は、希望する職員に遠慮なくご相談ください！

タイトル「啐啄之機」(そったくのき)について

「鶏が卵からかえるとき、殻の中で鳴くひなの声と、親鶏が外から殻をつつくのとが内外相呼応すること。」（新選漢和辞典より）であり、子どもの学ぼうとする意欲と、親や教師の指導が一致したときに、子どもたちの大きな成長につながるという意味があると考えます。このような機会を多くして、指導していきたいという願いを込めています。